


## 第5学年総合的な学習の時間学習指導プラン

学習内容	体験したことや見学したことをもとに、日本の二酸化炭素排出の現状について考えたり、資料から調べたりして、これからの新しいエネルギーの必要性に目を向ける。		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の興味・関心を持った課題を設定し、外部講師の講話や、見学学習等を通して、地球温暖化についての意識を持たせる。</li> <li>○ ペアでの話し合いを通して、自ら課題を見つけ、地球温暖化の問題点や再生可能エネルギーの必要性について考えさせる。</li> </ul>		
段階	学習活動・内容	時間	○ 指導上の留意点 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価（評価方法）</span>
問題把握	<p>1 本時の学習内容を捉える。</p> <p>(1) グラフを見て、二酸化炭素排出量が増えていることに気づく。</p> <p>(2) 学習のめあてをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>何から二酸化炭素が出ているか調べよう。</p> </div>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料を提示し、気づいたことを自由に発表させることで、二酸化炭素排出量が増加していることに気づかせる。</li> <li>○ 一家庭あたり1日に排出する二酸化炭素の重さの袋（約14.4kg）を持たせ、排出される二酸化炭素の量を実感させる。</li> <li>○ 前時で視聴した環境問題のDVD鑑賞や見学学習から、二酸化炭素が増えると、地球にどんな影響があるかを確認させる。</li> </ul>
問題追究	<p>2 二酸化炭素を排出する原因となるものを見つける。</p> <p>(1) 調べる方法を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本や資料で調べる。</li> </ul> <p>(2) 図書や資料集を活用して、家庭・社会の二酸化炭素を排出する原因となるものについてペアで調べる。</p> <p>(3) 調べたことを全体で発表する。</p> <p>3 本時のまとめをする。</p> <p>(1) 地球にやさしいエネルギーの必要性について共有する。</p> <p>(2) 学習感想を書き、本時の学習を振り返る。</p>	33	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分たちの生活を振り返り、生活の中で、電化製品や自動車を使う機会が多いことに気づかせる。</li> <li>○ 地球温暖化の現状について調べるために、副教材「かがやけ！みんなのエネルギー」を資料とする。</li> <li>○ 児童の発言に共感的に関わりながら、全体で共有する。</li> <li>○ 資料から読み取ったことを話し合い、二酸化炭素排出の原因を見つけ出させる。</li> <li>○ ペアを作り、互いの考えを出し合いながら調べ学習を進めさせる。</li> <li>○ 調べ学習が進まないペアには、資料を提示したり、図書資料を活用することを促したりする。</li> <li>○ 考えが進んでいるペアには、カードにわかったことをまとめ、発表の準備をさせる。</li> <li>○ 従来の発電方法に問題があることに気づかせ、二酸化炭素を排出しない発電方法について関心を持たせる。</li> <li>○ 二酸化炭素を減らすために、地球にやさしいエネルギーが必要だという新たな課題を共有できるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>調べたことをもとに、地球にやさしいエネルギーの必要性について目を向けることができる。</p> <p><b>【カード・発表・感想】</b></p> </div>
まとめ	4 次時の予告をする。	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地球温暖化や地球にやさしいエネルギーについて、外部講師から詳しい話を聞くことを知らせることにより、次時への意欲を持たせる。</li> </ul>
作成推進校	いわき市立郷ヶ丘小学校		

# 平成29年度第5学年 エネルギー教育実践記録

## 総合「環境について考えよう」 関連： 再生可能エネルギー

<p>実施月</p>	<p>平成29年11月</p>
<p>実践内容</p>	<p>体験したことや見学したことを基に、日本の二酸化炭素排出の現状について考えたり、資料から調べたりして、これからの新しいエネルギーの必要性に目を向ける。</p>
<p>実践の様子</p>	<p>○ 一家庭あたり一日に排出する二酸化炭素の重さの袋を持たせ、排出される二酸化炭素の量を実感させる。</p>  <p>○ 家庭・社会の二酸化炭素を排出する原因となるものについて、ペアで調べ、調べたことをまとめる。</p>   
<p>実践を終えて</p>	<p>○ 施設見学や外部講師の協力を得ることにより、地球温暖化や地球にやさしいエネルギーに関する知識や社会問題をより深く理解させることができた。</p> <p>○ 資料を用いた調べ学習から、地球温暖化の現状や地球にやさしいエネルギーについて理解させることができた。また、得た知識を実生活に生かそうとする児童の姿がみられた。</p>